

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年8月5日 (2010.8.5)

【公表番号】特表2009-542860(P2009-542860A)

【公表日】平成21年12月3日 (2009.12.3)

【年通号数】公開・登録公報2009-048

【出願番号】特願2009-518549(P2009-518549)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/00 (2006.01)

C 0 9 J 11/04 (2006.01)

C 0 9 J 133/00 (2006.01)

C 0 9 J 9/02 (2006.01)

H 0 1 B 5/16 (2006.01)

H 0 1 B 13/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 J 7/00

C 0 9 J 11/04

C 0 9 J 133/00

C 0 9 J 9/02

H 0 1 B 5/16

H 0 1 B 13/00 5 0 1 P

B 3 2 B 27/00 M

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月14日 (2010.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

接着テープであって、前記接着テープが、接着剤ポリマー樹脂と前記接着剤ポリマー樹脂に分配された導電性充填剤とを含むとともに、その両面に異なる接着値を有し、前記導電性充填剤が、前記接着剤ポリマー樹脂の長手方向及び横断方向の両方に配置されている一方で、それらが互いに、前記接着テープの一方の表面から前記接着テープのもう一方の表面まで電氣的に接続されている、接着テープ。

【請求項 2】

厚さが約 2.5 μm ~ 3 mm である、請求項 1 に記載の接着テープ。

【請求項 3】

一方の表面での初期接着値が約 1.16 ~ 3.86 センチニュートン / センチメートル ( 300 ~ 1000 gf / インチ ) であるとともに、もう一方の表面での初期接着値が約 3.09 ~ 9.65 センチニュートン / センチメートル ( 800 ~ 2500 gf / インチ ) である、請求項 1 に記載の接着テープ。

【請求項 4】

前記導電性充填剤が、前記接着剤ポリマー樹脂 100 重量部につき 10 ~ 500 重量部の量で存在する、請求項 1 に記載の接着テープ。

【請求項 5】

前記接着剤ポリマー樹脂がアクリルポリマー樹脂を包含し、要すれば前記アクリルポリマー樹脂が、C 1 ~ C 1 4 アルキル基を有するアルキルアクリレートモノマーと極性の共重合性モノマーとの共重合によって得られるポリマーを包含する、請求項 1 に記載の接着テープ。

【請求項 6】

前記アルキルアクリレートモノマーが、ブチル（メタ）アクリレート、ヘキシル（メタ）アクリレート、n - オクチル（メタ）アクリレート、イソオクチル（メタ）アクリレート、2 - エチルヘキシル（メタ）アクリレート、イソノニル（メタ）アクリレート、イソオクチルアクリレート、イソノニルアクリレート、2 - エチルヘキシルアクリレート、デシルアクリレート、ドデシルアクリレート、n - ブチルアクリレート、及びヘキシルアクリレートから選択される、請求項 5 に記載の接着テープ。

【請求項 7】

前記極性の共重合性モノマーが、アクリル酸、イタコン酸、ヒドロキシアルキルアクリレート、シアノアルキルアクリレート、アクリルアミド、置換アクリルアミド、N - ビニルピロリドン、N - ビニルカプロラクタム、アクリロニトリル、塩化ビニル、及びフタル酸ジアリルから選択される、請求項 5 に記載の接着テープ。

【請求項 8】

前記アルキルアクリレートモノマーと前記極性の共重合性モノマーとが 99 ~ 50 : 1 ~ 50 の比で使用される、請求項 6 に記載の接着テープ。

【請求項 9】

前記導電性充填剤が、貴金属類；非貴金属類；貴金属メッキされた貴金属又は非貴金属；非貴金属メッキされた貴金属及び非貴金属；貴金属又は非貴金属メッキされた非金属；導電性の非金属；導電性ポリマー；並びにこれらの混合物からなる群から選択される、請求項 1 に記載の接着テープ。

【請求項 10】

接着剤ポリマー樹脂形成用のモノマーを導電性充填剤と混合する工程と；

該混合物をシート状に成形する工程と；

前記シートの両面に光を照射して、前記接着剤ポリマー樹脂の光重合を行う工程であって、前記シートの各表面には異なる強度の光が照射され、及び前記光が、前記シート表面の一部に選択的に照射される工程と、を含み、

要すれば、前記接着剤ポリマー樹脂形成用のモノマーを前記導電性充填剤と混合する前記工程が：

前記接着剤ポリマー樹脂用のモノマーを部分重合することによってポリマーシロップを形成する工程と；

前記モノマーを部分重合することによって得られた前記ポリマーシロップに前記導電性充填剤を添加する工程と、を包含する、

長手方向と横断方向の両方に導電性を有する接着テープの製造方法。